

令和4年度(2022年度)学校教育目標

学ぶ喜び、つながる喜び、働く喜びを実感できるチーム伊倉の仲間づくり



玉名市立伊倉小学校だより 第20号

4年生が福祉について理解を 深めています——総合的な学習の時間

玉名市社会福祉協議会の協力を得て、4年生が「生き生きと暮らせる福祉のまち玉名」というテーマで総合的な学習の時間に取り組んでいます。

車椅子やアイマスクなどをしての高齢者の体験、聴覚障がいのある方からの対面での直接対話(写真)を通して「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」といった言葉を実感することができた4年生です。



「すぐその未来」はネット上で検索していただくと、動画が視聴できます。総務省が2018年6月に公表したものです。狩猟社会(Society1.0)、農耕社会(Society2.0)、工業社会(Society3.0)、情報社会(Society4.0)に続く、新たな未来社会(Society5.0)のコンセプトを紹介するものです。

(写真はタブレット端末でお絵かきをしているところを保護者も参観されている様子です。)して、新年度からの登校班で保護者ととともに一斉下校を体験してもらいました。4月のご入学を楽しみにしています。

いまの小学生が20年後に活躍する未来社会は、ますます予測困難であると考えられます。そうした未来社会を見据え、そのよき創り手となる子供たちを育てるいまの教育活動においては、変わらずに大切にしていけるべきことと変わっていくべきこととがあります。教育の不易と流行です。これらの両者をしっかりと見極めていく伊倉小学校でありたいと考えています。



給食頑張り調べ——給食委員会

全国学校給食週間(1月24日から30日まで)に合わせて“0”を目指している残さいの重さが1月26日には350g、27日には250gでした。給食時の放送でお互いの頑張りや讃え合ったり感謝し合ったりしている伊倉っ子です。

新入学児童体験入学——2月7日

校長あいさつでは新入学児童の保護者の皆様にこれから10年後、子供さんたちが中学校を卒業して高校生になるころの「すぐその未来」と、それを見据えた本年度前期の活動を振り返るスライドショーをお見せして本校の教育の一端を理解していただきました。

新1年生21人は現1年生からプレゼントをもらったり、現5年生と交流したり

玉名郡市特別支援学級
合同作品展---2月3日から12日まで
各学校の力作が玉名市歴史博物館こころ
ピアで展示されています。
企画展「俳優 笠智衆」展も12日までです。